

# 2019年度 事業報告書



# 2019 年度事業報告及び決算報告

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

## I 報告概要

### 1. 重点事業

#### (1) 平成 30 年 7 月豪雨災害復興支援活動

##### ①支援した団体・プロジェクト

128 団体・件

##### ②資金的支援の総額

18,720,000 円

##### ③平成 30 年 7 月豪雨災害支援ひろしまネットワーク会議の開催

開催回数 11 回

参加者数 161 名

##### ④主な連携先・協働パートナー

広島県、広島市、坂町、安浦町

社会福祉法人広島県社会福祉協議会

広島県地域支え合いセンター

社会福祉法人広島市社会福祉協議会

広島県生活協同組合連合会

特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)

公益財団法人日本フィランソロピー協会

Yahoo! 基金、Yahoo! ネット募金

ボラ写 PROJECT ほか

## (2) 組織基盤強化

一般財団法人非営利組織評価センターが提供する組織評価制度において、組織マネジメント力を評価する仕組みとして、信頼できる組織であることを評価するため、5つの評価対象領域（1. 組織の目的と事業の実施、2. ガバナンス、3. コンプライアンス、4. 情報公開、5. 事務局運営）について、団体の組織運営や事業運営の状況に関する書類審査等を行った結果、「ベーシック評価（旧：基礎評価）」を受けることができました。

ヒロシマエヌピーオーセンター 特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター	
評価を受けた年度	2019
団体所在地	広島県
活動分野	NPO支援
団体ホームページ	<a href="http://www.npoc.or.jp">http://www.npoc.or.jp</a>
評価日	2019年08月05日
評価更新日	2019年08月05日



## (3) 新ビジョン・中長期計画づくり

ひろしまNPOセンターの新ビジョン・中長期計画の策定のため、事務局スタッフによる年間を通じた計画づくりのミーティング（計8回）を実施すると共に理事会にて協議し、新ビジョン・中長期計画（骨子案）を作成した。

また、本計画は2020～2029年度を対象とし、2020年度を通して会員や関係団体等と意見交換しながら詳細を決定する予定。

### <新ビジョン・中長期計画づくりの考え方>

- 単年度（1年：2020年度）、中期（3年：2020～2022年度）、長期（2020～2029年度）を計画期間とし、各段階での目標を設定する。また、SDGs（2016～2030年度）の達成と合わせて計画を紐付ける。
- ビジョンは、次世代にバトンを渡す時期として、2030～2040年度を想定した「目指す社会の姿」と位置づける。
- 骨子案の「目指す社会（ビジョン）」「私たちの役割（ミッション）」「行動指針」「目標の詳細」等について、ひろしまNPOセンターのスタッフや役員、会員、関係団体と協議し、社会状況やニーズ、ひろしまNPOセンターに期待される役割等をふまえて策定する。

## 2. 会員等への支援提供・協働事業

2019年度の下記事業において、会員の団体等への支援提供や事業の共同実施を行った。

NO	事業名	事業内容
1	イーパーツリユース PC 寄贈プログラム	認定 NPO 法人イーパーツと連携した、企業リユース PC の NPO への寄贈仲介。
2	什器備品等の寄贈プログラム	県内企業等から寄贈された什器備品等の NPO への寄贈仲介。
3	NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業	広島市と連携した幟会館の共同事務所の運営や NPO のインキュベーション支援。
4	サテライトキャンパスひろしま	教育ネットワーク中国と連携したサテライトキャンパスひろしまの運営や会議室を活用した交流支援。
5	平成 31 年度広島県環境学習指導者専門研修業務	広島県環境政策課と連携した環境学習人材の育成研修の企画運営。
6	ひろしま未来交流会	立場・分野・地域・世代をこえて広島を語り合う交流会の企画運営。
7	親子での体験活動プログラム普及に係るサテライト講座業務	広島県教育委員会と連携した幼稚園・保育所・認定こども園等における親子向けの体験活動プログラムの企画・普及啓発。
8	委員・講師等の派遣	各主体から依頼のある委員会・協議会・セミナー等への委員・講師派遣。
9	協力・後援・連携事業の推進	各主体から依頼のある会議・行事等への参加や開催協力。
10	平成 30 年 7 月豪雨災害支援活動	行政・社協・NPO 等と連携した西日本豪雨災害の復旧・復興のための活動支援や関係機関との協働事業の展開。

## II 組織運営

### 1. 組織体制

#### (1) 会 員

正会員：109（個人：105名、企業：4社）

協力会員：46名（個人：43名、企業：3社）

#### (2) 事務局

##### 【職員数】

33名（常勤16名、非常勤17名）

##### 【事務局運営スタッフ】

NO	氏名	勤務形態	役職	役割
1	松原 裕樹	常勤	専務理事、事務局長	事務局統括、業務運営責任者
2	山本 祐二	常勤	常務理事	総務・経理、業務運営責任者
3	増田 勇希	常勤	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
4	香川 恭子	常勤	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
5	松村 涉	常勤	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者

##### 【業務運営スタッフ】

NO	事業名	事業所	スタッフ数
1	平成31年度中国環境パートナーシップオフィス（EPOちゅうごく）管理運営等業務	広島市	常勤：3名
2	開発教育支援事業	東広島市	非常勤1名
3	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業（中区、南区、安佐南区）	広島市	常勤7名、非常勤15名
4	平成30年7月豪雨災害支援活動	広島市	常勤1名、非常勤1名

#### (3) 役 員

役職	氏名	所属	区分
代表理事	安藤 周治	特定非営利活動法人ひろしまね 理事長	県北部
	中村 隆行	広島経済大学 スポーツ経営学科 准教授、興動館プロジェクトセンター長	NPO
副代表理事	三好 久美子	公益財団法人ひろしまこども夢財団 理事長	県東部

	山本 一隆	中国新聞社会事業団 理事長	県西部
専務理事	松原 裕樹	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター 事務局長	NPO
常務理事	山本 祐二	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
理事	五百竹 宏明	北陸大学経済経営学部 教授	学識経験者
	金谷 信子	広島市立大学国際学部 教授	学識経験者
	川口 隆司	認定特定非営利活動法人法人コミュニティリーダーひゅーるぼん 理事長	NPO
	児玉 宏	特定非営利活動法人コーチズ 代表理事	NPO
	西本 尚士	広島商工会議所 総務部長	経済団体
	茶山 ちえ子	特定非営利活動法人 WAC 広島ふれあいセンター 理事長	NPO
監事	増田 勇希	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
	村田 民雄	特定非営利活動法人 e&g 研究所 理事長	NPO
監事	久笠 信雄	弁護士	
	赤羽 克秀	公認会計士・税理士	

## 2. 通常総会の開催

### (1) 第 21 回通常総会

日 時	令和元年 6 月 9 日 (日) 10:30~13:00
場 所	ひろしま NPO センター大学連携室 (広島市中区大手町 1-5-3 広島県民文化センター6F)
出席者	正会員 132 名中 77 名出席 (出席: 15 名、委任状: 62 名)
議 題	1) 2018 年度事業報告及び決算報告 (案) 2) 2019 年度事業計画及び活動予算 (案)
備 考	総会終了後に交流会

## 3. 理事会の開催

### (1) 第 1 回理事会

日 時	令和元年 5 月 30 日 (木) 16:00~17:30
場 所	ひろしま NPO センター

	(広島市中区八丁堀 3-1 幟会館 2F 会議室)
出席者	9名、ほか監事1名
議題	1) 2018年度事業報告及び決算報告(案) 2) 2019年度事業計画及び活動予算(案)

**(2) 第2回理事会**

日時	令和元年11月1日(金) 16:00~17:30
場所	ひろしま NPO センター (広島市中区八丁堀 3-1 幟会館 2F 会議室)
出席者	8名(内書面評決1名)
議題	1) 2019年度(令和元年度)半期の事業報告及び決算 2) 平成30年7月豪雨災害支援活動報告 3) ひろしま NPO センター新ビジョン・計画づくり 4) 休眠預金等活用事業 5) 広島県民文化センター「サテライトキャンパス」事業 6) 事務局体制

**(3) 第3回理事会**

日時	令和2年3月24日(火) 16:00~17:30
場所	ひろしま NPO センター (広島市中区八丁堀 3-1 幟会館 2F 会議室)
出席者	8名
議題	1) 2019年度(令和元年度)事業報告及び決算予測 2) 2020年度(令和2年度)事業及び活動予算(案) 3) ひろしま NPO センター新ビジョン・計画づくり 4) 新型コロナウイルス感染症対応

### III 事業運営

#### 1. 事業概要

区分	事業名	事業内容	事業期間	実施場所	収益形態
(1) 情報収集提供事業					
継続	情報収集・発信	NPO 支援に関するイベント・助成金・施策等の情報収集や、ホームページ・Facebook・ニュースレター等を通じた発信。	年間	全国	自主財
継続	データベース構築・活用	各地の団体・取組・課題等の情報の記録・整理や、事業推進のためのデータ活用。	年間	全国	自主財
(2) 各種団体の運営支援事業					
①資金循環システムの構築					
継続	市民ファンドとの連携	公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしまと連携した NPO の資金調達支援。	年間	県内	自主財
継続	ひろしま NPO サポート倶楽部	ゆうちょ銀行の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
継続	ろうきん NPO 寄付システム	中国労働金庫の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
②組織基盤強化					
継続	イーパーツリユース PC 寄贈プログラム	認定 NPO 法人イーパーツと連携した、企業リユース PC の NPO への寄贈仲介。	年間	県内	自主財
継続	NPO 事務局センター・NPO 事務支援カンファレンス	全国の NPO 支援センターと連携した、NPO の事務・経営支援。	年間	全国	自主財・利用料
継続	什器備品等の寄贈プログラム	県内企業等から寄贈された什器備品等の NPO への寄贈仲介。	年間	全国	自主財
③人材育成・ノウハウの提供					
継続	課題解決型長期インターンシップ	有限会社 S-Produce.と連携した、大学生の長期インターンシップや企業・社会人との交流機会の創出。	年間	県内	自主財
継続	ソーシャルビジネス支援ネットワークひろしま	日本政策金融公庫・広島銀行と連携したソーシャルビジネス推進のため	年間	県内	自主財

		の相談対応・セミナー等の実施。			
継続	地域課題解決ネットワーク	広島市・経済団体等と連携した、UIJ ターン・創業・事業継承の支援。	年間	県内	自主財
新規	廿日市市市民活動相談業務	廿日市市市民活動センターの相談窓 口業務の支援。	年間	廿日市市	受託料
継続	「福山市まちづくりサポートセン ター」ボランティア・NPO 等相談 業務	福山市まちづくりサポートセンター の相談窓口業務の支援。	年間	福山市	受託料
④拠点提供					
継続	NPO・市民活動団体向けの活動拠 点を提供する共同事務所事業	広島市と連携した職会館の共同事務 所の運営や NPO のインキュベーシ ョン支援。	年間	広島市	自主財・ 利用料
継続	サテライトキャンパスひろしま	教育ネットワーク中国と連携したサ テライトキャンパスひろしまの運営 や会議室を活用した交流支援。	年間	広島市	自主財
(3) 調査・研究・政策提言事業					
継続	中国 5 県中間支援組織連絡協議会	中国 5 県の NPO 支援センターと連 携した情報・ノウハウ・人材交流や、 中国 5 県の共通課題を解決するた めの協働取組の展開。	年間	中国地方	自主財
(4) 啓発・研修事業					
継続	開発教育支援事業	JICA 中国と連携した国際協力の担 い手育成のためのプログラム企画や 施設展示、広報等。	年間	中国地方	受託料
継続	Green Gift 地球元気プログラム 2018-2019	東京海上日動火災保険株式会社・日 本 NPO センター等と連携した、親 子向けの環境保全活動の伴走支援。	年間	中国地方	受託料
継続	ざぶん賞中国ブロック実行委員会	一般財団法人ざぶん環境・文化プロ ジェクトと連携した、水をテーマに した子どもの全国作文コンクールの 中国地方事務局の運営。	年間	中国地方	受託料
継続	JICA 中国 NGO 連携事業 「UPDATE セミナーシリーズ」コ ーディネート業務	JICA 中国と連携した NGO・市民の 能力強化のためのセミナー等の企画 運営。	年間	中国地方	受託料
継続	2018 年 JICA 中国青年研修「ミヤ ンマー防災コース」	JICA 中国と連携したミャンマーの 青年行政官（防災分野）の訪日研修 の企画運営。	11 月	中国地方	受託料
新規	2018 年 JICA 四国青年研修「ラオ	JICA 中国と連携したラオスの青年	1～2 月	中国地方	受託料

	ス防災コース」	行政官（防災分野）の訪日研修の企画運営。			
継続	平成 31 年度中国環境パートナーシップオフィス(EPOちゅうごく)管理運営等業務	環境省との協働による、中国地方の環境パートナーシップ拠点・中国地方 ESD センターの運営や協働取組・ESD に関する事業の推進。	年間	中国地方	受託料
継続	平成 31 年度広島県環境学習指導者専門研修業務	広島県環境政策課と連携した環境学習人材の育成研修の企画運営。	4～12月	県内	受託料
継続	山の日実行委員会事務局	広島県・市町・環境団体等と連携した県民参加の森づくり運動の実行委員会事務局。	年間	県内	受託料
(5) ネットワーク・連携推進事業					
継続	相談対応業務	NPO・ボランティア・市民活動に関する各種相談の対応。	年間	全国	自主財
継続	たちまち全員集合実行委員会	広島県県民活動課・NPO・企業等による協働促進のためのイベントの企画・運営やひろしま県民活動表彰の運営支援。	年間	県内	自主財・負担金
継続	中国 NGO ネットワーク	中国地方の NGO の活動発展や連携促進のための事業やネットワーク事務局の運営。	年間	中国地方	自主財
継続	広島 NGO ネットワーク	広島県の NGO の活動発展や連携促進のための事業やネットワーク事務局の運営。	年間	県内	自主財
継続	ひろしま未来交流会	立場・分野・地域・世代をこえて広島を語り合う交流会の企画運営。	年間	県内	自主財
継続	東日本大震災県外自主避難者等への情報支援事業	中国 5 県の NPO 支援センターやひろしま避難者の会アスチカと連携した避難者への支援活動。	年間	中国地方	自主財
(6) 子育て・子育て支援に関する事業					
継続	親子での体験活動プログラム普及に係るサテライト講座業務	広島県教育委員会と連携した幼稚園・保育所・認定こども園等における親子向けの体験活動プログラムの企画・普及啓発。	7～2月	県内	受託料
継続	広島市公募型常設オープンスペース「つばさ（中区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（中区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財・補助金・利用料

継続	広島市公募型常設オープンスペース「ふらっと（安佐南区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（安佐南区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財・補助金・利用料
継続	広島市公募型常設オープンスペース「いいね（南区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（南区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財・補助金・利用料
(7) その他目的を達成するために必要な事業					
継続	委員・講師等の派遣	各主体から依頼のある委員会・協議会・セミナー等への委員・講師派遣。	年間	全国	自主財・謝礼金
継続	協力・後援・連携事業の推進	各主体から依頼のある会議・行事等への参加や開催協力。	年間	全国	自主財ほか
新規	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業2019	中国5県のNPO支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
新規	西日本豪雨被災者支援に対する支援調整と3県県域災害ネットワーク構築・強化業務	JVOAD等と連携した西日本豪雨災害の各地の復旧・復興活動の支援や関係機関との連携促進。	4～10月	広島県 岡山県 愛媛県	受託料
継続	平成30年7月豪雨災害支援活動	行政・社協・NPO等と連携した西日本豪雨災害の復旧・復興のための活動支援や関係機関との協働事業の展開。	年間	県内	自主財・寄付金
継続	ひろしま復興支援基金（生協連）	広島県生活協同組合連合会からの寄付金を活用した西日本豪雨災害の復旧・復興のための基金の設立や支援団体への助成金配分。	年間	県内	寄付金
継続	ひろしま復興支援基金（Yahoo!基金）	Yahoo!基金からの寄付金を活用した西日本豪雨災害の復旧・復興のための基金の設立や支援団体への助成金配分。	年間	全国	寄付金
継続	ひろしま復興支援基金（Yahoo!ネット募金）	Yahoo!ネット募金で集めた寄付金を活用した西日本豪雨災害の復旧・復興のための基金の設立や支援団体への助成金配分。	年間	全国	寄付金

## 2. 実施内容

### (1) 情報収集提供事業

#### ①情報収集・発信

NPO に係る活動や支援の状況、主体間ネットワークの形成に資する情報等を収集した。収集にあたっては、NPO・行政（国、県、市町村）・企業等の報道発表資料・関連刊行物・報告書、必要に応じてマスコミやインターネットの情報、メルマガ等を活用するとともに、関係団体・機関との情報交流を実施した。

また、ホームページを通して、広島県内で実施される各主体の行事、補助金・助成金情報等、NPO 活動に関わる団体等の基盤強化、連携強化に資する情報を発信すると共に、Facebook ページを活用して主催行事や協力事業、活動状況を中心に情報発信を展開した。



ホームページ (<http://npoc.or.jp/>) Facebook ページ (<https://www.facebook.com/hiroshima.npoc>)

#### ■ ニュースレターの発行

区分	発行時期	掲載内容
5月号	2019年5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事務局長あいさつ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 広島まだまだがんばっとるけえ</li> <li>* 広島と NPO の未来に向けた新たなビジョン</li> </ul> </li> <li>○ひろしま復興支援基金のご報告</li> <li>○子育て部門のご紹介</li> <li>○2019年度総会のご案内</li> </ul>
8月号	2019年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事務局長あいさつ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 平成30年7月豪雨災害のいま</li> <li>* 新ビジョン・中長期計画づくり</li> </ul> </li> <li>○組織基盤を強化しよう</li> <li>○子育て部門のご紹介</li> </ul>

		○セミナーのご案内
11月号	2019年11月	○事務局長あいさつ * 全国の被災状況 * ボランティア不足に対して * 広島から全国への恩送り ○災害復興活動のご報告 ○書籍のご紹介 ○安全点検のご案内
1月号	2020年1月	○事務局長あいさつ * 民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律 * 休眠預金等に係る資金の活用に関する見解とこれまでの経緯 * 今後に向けてみなさんと目指したいこと ○いよいよ始まる休眠預金 ○雇用関係の「助成金」を活用してみませんか ○阪神淡路大震災発生から25年

## (2) 各種団体の運営支援事業

### 《資金循環システムの構築》

#### ①ひろしま NPO サポート倶楽部

##### 1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	ひろしま NPO サポート倶楽部
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	ひろしま NPO サポート倶楽部
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	寄付金
収益金額	650,000円
目的・内容	ひろしま NPO サポート倶楽部は、広島県内の NPO 法人の活動資金援助を広く県民の皆様へに支援していただく制度で、倶楽部への会員登録をしてくださった方の郵便貯金口座から、毎年6月及び12月（各会員が希望された月）に、一口500円の会費引落しを行い、集まった会費（寄付金）を NPO 法人に分配する仕組み。

## 2) 実施内容

## ■応募期間

令和2年1月～2月

## ■選考審査会

【日 時】令和2年3月3日(月) 14:00～15:30

【場 所】幟会館 2階 A会議室(広島市中区八丁堀 3-1)

【審査委員】善積昭之(中国労働金庫広島県営業本部本部長)、三好久美子(ひろしまこども夢財団理事長)、金谷信子(広島市立大学教授)、山本恵由美(NPO法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 理事長)、安藤周治(ひろしま NPO センター代表理事)、中村隆行(ひろしま NPO センター代表理事)

## ■助成金授与式

※2019年度「ひろしま NPO サポート倶楽部」の寄付金配分式は、ひろしま NPO センターの「新型コロナウイルス等の感染症に関する方針」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催中止。

## ■助成団体

【応募件数】10 団体／7 団体を採択

【助成総額】650,000 円

団体名	所在地	助成額
NPO 法人さとうみ振興会	廿日市市上平良	100,000 円
NPO 法人健康サロン	広島市佐伯区	100,000 円
NPO 法人ひろしまレリクエーション協会	広島市中区	50,000 円
NPO 法人ひろしまピンクリボンプロジェクト	広島市中区	50,000 円
NPO 法人西中国山地自然史研究会	山県郡北広島町	150,000 円
NPO 法人コミュニティリーダーひゅーるぼん	広島市安佐南区	150,000 円
NPO 法人ひろしま自然学校	山県郡北広島町	50,000 円

## 3) 事業総括

## 【成 果】

- 課題解決プロジェクトの実践に向けた機運の醸成
- 他分野の活動団体との交流

## 【課 題】

- 新たな取り組みの企画・運営
- 持続可能な組織基盤強化

## ②中国ろうきん NPO 寄付システム

## 1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	中国ろうきん NPO 寄付システム

担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	中国労働金庫
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	寄付金
収益金額	350,000円
目的・内容	「私たちの地域を私たちでつくる～100円からできるボランティア～」を合言葉に、中国労働金庫の普通口座契約者からいただいた寄付金を、中国各県で活動するNPOに寄付配分し、団体の社会貢献活動を促進していこうという「地域循環型寄付システム」。

## 2) 実施内容

### ■応募期間

令和2年1月～2月

### ■選考審査会

【日時】令和2年3月3日(月) 14:00～15:30

【場所】幟会館 2階A会議室(広島市中区八丁堀3-1)

【審査委員】善積昭之(中国労働金庫広島県営業本部本部長)、三好久美子(ひろしまこども夢財団理事長)、金谷信子(広島市立大学教授)、山本恵由美(NPO法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 理事長)、安藤周治(ひろしま NPO センター代表理事)、中村隆行(ひろしま NPO センター代表理事)

### ■助成金授与式

※2019年度「中国ろうきん NPO 寄付システム」寄付金配分式は、ひろしま NPO センターの「新型コロナウイルス等の感染症に関する方針」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催中止。

### ■助成団体

【応募件数】19団体/7団体を採択

【助成総額】350,000円

分野	団体名	所在地	助成額
保健・医療・福祉	NPO 法人心の絆ネットワーク	広島市中区	50,000円
まちづくり	NPO 法人風の家	広島市中区	50,000円
学術、文化、芸術、スポーツ	NPO 法人ひろしまインターネット美術館	広島市西区	50,000円
学術、文化、芸術、スポーツ	NPO 法人きりり倶楽部	三次市三次町	50,000円
環境保全	NPO 森のおさるさん	三原市本郷町	50,000円
子どもの健全育成	NPO 法人体にやさしい食の会	広島市中区	50,000円
子どもの健全育成	NPO 法人三次おやこ劇場	尾道市向島町	50,000円

## 3) 事業総括

## 【成 果】

- 持続可能な組織基盤強化に向けた機運の醸成
- 他分野の活動団体との交流

## 【課 題】

- 新たな取り組みの企画・運営
- 持続可能な自主事業の確立

## ≪組織基盤強化≫

## ③イーパーツリユース PC 寄贈プログラム

## 1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	イーパーツリユース PC 寄贈プログラム
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	認定特定非営利活動法人イーパーツ
事業期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
収益形態	受託料
収益金額	－
目的・内容	企業からのリユース PC を非営利団体・ボランティア団体・高齢者グループなどの市民活動団体 や NPO へと無償で寄贈し、その情報化を支援する。

## 2) 実施内容

## ■寄贈式の開催

- 【日 時】 令和 2 年 2 月 8 日（土）13:00～16:00
- 【場 所】 ひろしま NPO センター大学連携室 県民文化センター 6F（広島市中区）
- 【参加者】 5 団体
- 【運 営】 認定特定非営利活動法人イーパーツ、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター、ひろしま市民活動ネットワーク HEART to HEART
- 【内 容】 <第 1 部>
  - ルーレットトーク
 <第 2 部>
  - 寄贈 PC に関するオリエンテーション
  - パソコン寄贈

## ■寄贈団体

NO	団体名
1	基町地区社会福祉協議会
2	NPO 法人とりで
3	NPO 法人 nico;loop (ニコループ)
4	NPO 法人ひろしま点灯虫の会
5	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会

## 3) 事業総括

## 【成 果】

- 持続可能な組織基盤強化に向けた機運の醸成
- 他分野の活動団体との交流

## 【課 題】

- 新たな取り組みの企画・運営
- 持続可能な自主事業の確立

## 《人材育成・ノウハウの提供》

## ④廿日市市民活動相談業務

## 1) 事業概要

事業種別	新規
事業名	廿日市市民活動相談業務
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	廿日市市
事業期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
収益形態	受託料
収益金額	2,207,018 円
目的・内容	市民活動の相談窓口において、市民活動団体の運営に関することから NPO 法人の設立・運営に関することに対して助言及び情報提供等を行う。

## 2) 実施内容

## ■相談対応

【日 時】 毎月第 2・4 木曜日

【場 所】 廿日市市民活動センター 1 階 相談コーナー  
(廿日市市住吉 2-2-16)

【運 営】 専門相談員：山本祐二 (特定非営利活動法人ひろしま NPO センター)

【内 容】 団体設立、資金調達、助成金・支援制度、組織・活動運営等の相談対応

## 3) 事業総括

## 【成 果】

- 相談者の市民活動における知見の向上
- 各関係機関とのネットワーキング

## 【課 題】

- 協働推進に向けた課題解決
- 各団体の自立と組織基盤強化

## ⑤「福山市まちづくりサポートセンター」ボランティア・NPO 等相談業務

## 1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	「福山市まちづくりサポートセンター」ボランティア・NPO 等相談業務
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	福山市
事業期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
収益形態	受託料
収益金額	306,962 円
目的・内容	市民活動に関するあらゆる疑問や悩みごとなど、まちづくりに取り組む課題解決をサポートする。

## 2) 実施内容

## ■相談対応

- 【日 時】 毎月第 3 木曜日
- 【場 所】 福山市まちづくりサポートセンター 「まちサポ」 オープンスペース  
(福山市本町 1-35 福山市市民参画センター 2F)
- 【運 営】 専門相談員：山本祐二 (特定非営利活動法人ひろしま NPO センター)
- 【内 容】 団体設立、資金調達、助成金・支援制度、組織・活動運営等の相談対応

## 3) 事業総括

## 【成 果】

- 相談者の市民活動における知見の向上
- 各関係機関とのネットワーキング

## 【課 題】

- 協働推進に向けた課題解決
- 各団体の自立と組織基盤強化

## 《拠点提供》

### ⑥NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業

#### 1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	広島市
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	自主財源・利用料
収益金額	－
目的・内容	組織の立ち上げ期や新たな展開を始めようとしているNPO法人や市民活動団体等の非営利団体を対象として、活動拠点を提供する。

#### 2) 実施内容

##### ■2019年度入居団体

NO	団体名
1	ためまっぷプロジェクト（2019年8月末退居）
	中国留学生会（2020年2月入居）
2	特定非営利活動法人がんサーバイバー・キャリアサポート（2019年12月退居）
3	企業経営研究塾
4	ピアサポート子育て相談センター
5	広島脳力開発研究所（2019年6月退居）
6	one dream
7	特定非営利活動法人 I PRAY（2020年2月入居）

##### ■レターボックス

NO	団体名
1	特定非営利活動法人障害者年金ヘルプデスク
2	特定非営利活動法人日本インクルーシブ教育研究所
3	一般社団法人百人邑

#### 3) 事業総括

##### 【成 果】

- 入居団体に対して実施事業の後援、後方支援及び経理事務に関する基本的なアドバイスや情報発信など運営コンサルティングを適時行った。

## 【課 題】

- 入居団体募集の取組（現在4ブースの空室）

## （3）啓発・研修事業

## ①開発教育支援事業

## 1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	開発教育事業
担当責任者	増田勇希
担当スタッフ	増田勇希、濱長真紀（※産休のため年度途中で交代：林さやか）
契約先等	独立行政法人国際協力機構中国国際センター（JICA 中国）
事業期間	平成31年4月12日～令和2年3月31日
収益形態	受託料
収益金額	6,799,560円
目的・内容	本事業は、地域・市民の異文化理解、国際理解を高めるとともに、国際協力の担い手の育成を目的としている。おもに、JICA 中国を訪問する教育機関、市民団体向けの訪問プログラムの企画運営、高校生対象の夏季プログラム、管内展示等を業務として、業務従事者1名がJICA 中国内にデスクを構え業務を実施している。

## 2) 実施内容

## ■事業項目

- 施設訪問事業（訪問プログラムの企画運営、各種調整業務）
- 高校生プログラム事業（プログラム企画運営補助、各種調整業務）
- 館内展示事業
- 広報事業
- その他イベント補助等

## ■実施結果

- <年間施設訪問数>43件（小中高大学、社会人）
- <高校生プログラム参加数>22校44名
- <館内展示内容>4半期ごとに展示更新を実施
- <広報事業>教育機関向けパンフレットの作成

## 3) 事業総括

生徒・児童を対象とした異文化理解、国際理解の促進は、地域における将来のグローバル人材育成、多文化共生社会の実現には重要な要素であり、JICA 施設への訪問他、各種プログラムにおける

効果的な企画運営が求められる。従事者は、学校教員としての経験のほか、各種ワークショップの実績を十分に積んでいることから、JICA 中国、施設利用者（学校教員等）のニーズをとらえ、質の高いプログラムを提供している。

NPO センターとして、教育を通し異文化理解、国際理解を持った生徒・児童の育成に関われることは、今後さらに進むグローバル化と、すでに地域社会が直面している多文化共生等の課題に対し、課題解決への貢献となっている。

## ②Green Gift 地球元気プログラム 2018-2019

### 1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	Green Gift 地球元気プログラム 2018-2019
担当責任者	松原裕樹
担当スタッフ	松原裕樹、岩見暢浩、西村浩美、松田美紀
契約先等	特定非営利活動法人日本 NPO センター
事業期間	令和元年 10 月 1 日～令和 2 年 9 月 30 日
収益形態	受託料
収益金額	6,00,000 円
目的・内容	東京海上日動火災保険株式会社の CSR 事業「Green Gift 地球元気プログラム」において、環境省（後援）・日本 NPO センター（全国事務局）・GEOC 及び地方 EPO 運営団体（地方事務局）の役割分担のもと、第 4 期（令和元年 10 月～令和 4 年 9 月）の実行団体（岡山県：ミズシマ・パークマネジメント、広島県：特例認定特定非営利活動法人三段峡-太田川流域研究会）が実施する市民参加型の環境保護イベント等を伴走支援する。

### 2) 実施内容

#### ■三者会議（広島県プログラム）

【日 時】令和元年 12 月 6 日（金）9:00～10:30

【場 所】三段峡ホテル（広島県山県郡安芸太田町大字柴木）

【参加者】5 名（実施団体：2 名、東京海上：1 名、EPO：2 名）

【概要】東京海上日動火災保険株式会社広島支店・実施団体（特定非営利活動法人三段峡-太田川流域研究会）・EPO による三者会議を開催し、お互いの自己紹介やプロジェクトに対する思いの共有、3 年間及び 2019-2020 年度の事業計画について検討を行った。

#### ■事業計画を作成するためのワークショップ（広島県プログラム）

【日 時】令和 2 年 1 月 18 日（金）10:00～16:00

【場 所】EPO ちゅうごく（広島県広島市中区基町 11-10 合人社広島紙屋町ビル 5 階）

【参加者】10 名（実施団体：3 名、関係者：5 名、EPO：2 名）

【概要】実施団体（特定非営利活動法人三段峡-太田川流域研究会）によるワークショップ開催において、関係者の自己紹介やプロジェクトに対する思いの共有、3年間の事業計画、今年度のプログラム企画について協議検討を行った。

### ③2018年度 JICA 中国青年研修「ミャンマー防災コース」

#### 1) 事業概要

事業種別	新規
事業名	2018年度 JICA 中国青年研修「ミャンマー防災コース」
担当責任者	増田勇希
担当スタッフ	増田勇希
契約先等	独立行政法人国際協力機構中国国際センター（JICA 中国）
事業期間	令和元年10月17日～令和2年1月31日
収益形態	受託料
収益金額	2,595,439円
目的・内容	本事業は、ミャンマーの青年行政官（防災分野）を対象として、2014年広島土砂災害、西日本豪雨をケーススタディとし、行政における防災施策、地域における防災力の向上について知見を得ることで、ミャンマーの当該分野の発展に寄与することを目的としている。事業は講義、視察、ワークショップで構成されており、NPOセンターが培った知見とネットワークを活用することで、多様な研修先、関係者を巻き込み、地域、市民の国際化へも貢献している。

#### 2) 実施内容

【日程】令和元年11月10日（日）～11月23日（土）

【場所】広島県内

【研修先】広島県危機管理監、広島市危機管理室、坂町社会福祉協議会、日本技術士会中国本部、広島市消防局、広島大学、広島市防災士ネットワーク、江波山気象館、RCC等

【参加者】15名

【内容】ミャンマーはサイクロン、土砂災害、地震等、日本同様に災害リスクが高い国である一方、防災政策各種防災インフラ、防災啓発等は発展途上にある。そのような背景の中、2度の大規模災害に見舞われた広島では、県、市、地域等、それぞれのレベルでの防災対策、災害からの復旧・復興の経験を有しており、関係者とのディスカッションも含めた、より実践的な研修を構成するよう研修を設定した。研修員からは研修に対し一定の評価を受けるとともに、各研修先においても、災害の記録、経験を繋げることになり、今後の協力への前向きな発言等、双方にとって有意義な研修となった。

## ④JICA 四国青年研修「ラオス防災コース」

## 1) 事業概要

事業種別	新規
事業名	JICA 四国青年研修「ラオス防災コース」
担当責任者	増田勇希
担当スタッフ	増田勇希
契約先等	独立行政法人国際協力機構中国国際センター（JICA 中国）
事業期間	令和2年1月8日～3月27日
収益形態	受託料
収益金額	3,046,679円
目的・内容	本事業は、ラオスの青年行政官（防災分野）を対象として、西日本豪雨（愛媛県）をケーススタディとし、行政における防災施策、地域における防災力の向上について知見を得ることで、ラオスの当該分野の発展に寄与することを目的としている。事業は講義、視察、ワークショップで構成されており、NPOセンターが培った知見とネットワークを活用することで、多様な研修先、関係者を巻き込み、地域、市民の国際化へも貢献している。

## 2) 実施内容

【日 程】令和2年1月20日（月）～2月7日（金）

【場 所】愛媛県内

【研 修 先】愛媛大学、愛媛県危機管理課、大洲市役所、大洲市平地区自治会、大洲市三善地区自治会鹿野川ダム、大洲地区広域消防本部、大洲市社会福祉協議会、松山地方気象台、南海放送、愛媛大学防災リーダークラブ、松山市高浜自治会、松山市防災センター 等

【参 加 者】12名

【内 容】ラオスはサイクロン、土砂災害、水害等、日本同様に災害リスクを抱える一方、防災政策各種防災インフラ、防災啓発等は発展途上にある。そのような背景の中、2018年に災害に見舞われた愛媛県では、県、市、地域等、それぞれのレベルでの防災対策、災害からの復旧・復興の経験を有しており、関係者とのディスカッションも含めた、より実践的な研修を構成するよう研修を設定した。

研修員からは研修に対し一定の評価を受けるとともに、各研修先においても、災害の記録、経験を繋げることになり、今後の協力への前向きな発言等、双方にとって有意義な研修となった。

## ⑤平成31年度中国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務

## 1) 事業概要

事業種別	継続
------	----

事業名	平成 31 年度中国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務
担当責任者	松原裕樹
担当スタッフ	松原裕樹、岩見暢浩、西村浩美、松田美紀
契約先等	環境省中国四国地方環境事務所
事業期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
収益形態	受託料
収益金額	31,526,113 円
目的・内容	本業務は、環境教育等促進法及び促進法基本方針における EPO ちゅうごく及び国内実施計画等を踏まえた中国地方 ESD センターとしての役割を明確にし、業務を円滑に遂行するため、中国地方の実情を踏まえた各種事業の企画及び実施をすることにより、様々な主体による協働・連携の取組を広げ、効果的かつ効率的に環境保全活動を活性化させること及び ESD を推進するための広域ネットワークのハブ機能を担う体制を整備し、ESD 活動に関連する多様な主体と地域ネットワークの構築を図り、ESD のより一層の推進を図ることを目的とする。

## 2) 実施内容

### ■EPO ちゅうごく業務

- 持続可能な社会の実現に向けた地域協働モデルの創出及び支援
- 拠点間連携による地域内の中間支援機能強化
- 地域における ESD 推進の取組支援
- 第 5 次環境基本計画に沿った支援事業
- 地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた
- 地域循環共生圏の創造に取り組む採択団体の支援等
- 相談対応及び情報センター業務

### ■中国地方 ESD センター業務

- ESD 活動を支援する情報共有機能
- 現場のニーズを反映した ESD 活動の支援機能
- ESD 活動のネットワークの形成、ESD 実践の学びあいの場の促進機能
- 人材育成機能

### ■管理業務

- 平成 31 年度業務目標・業務運営計画の策定
- 運営委員会の設置・開催
- 中国四国地方環境事務所との意見交換会
- 管理・運営体制の確保
- 業務推進のための会議への出席
- 業務で得られたデータの把握及び整理

## 3) 事業総括

## ■EPO ちゅうごく業務

<p>持続可能な社会の実現に向けた地域協働モデルの創出</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題間の相関や同時解決につながる具体的なプロセスの可視化、関係者の理解促進のための支援（滞在型環境学習の地域の受皿基盤づくりとして、地域活性化グループと若者（高校生）のまちづくりへの参加・参画に向けたネットワーク化、地域住民に見える形（イベント等）での取組の実施）。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境、社会、経済の同時課題解決を目指す上では、より幅広いステークホルダーとの協働・連携を図っていく必要がある。活動背景が異なる人々（合意形成の作法やモチベーションの違い等）がいかに共通の目的・目標を意識し、細部の違いを認め合う、乗り越え合うことができるか、相互に納得の行く文脈を構想できるかが肝要となる。地域循環共生圏の形成に向け、より経済的な実現性が求められる中で、支援側のネットワークの多様化・多分野化を図る必要がある。</li> </ul>
<p>拠点間連携による地域内の中間支援機能強化</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域循環共生圏の形成促進に向けた中国 5 県の実践団体との相互理解や協力関係の深化。</li> <li>地域循環共生圏づくりの萌え芽となる団体の育成や県内外の関係団体とのノウハウ共有。</li> <li>中国 5 県の中間支援組織（環境分野・NPO 支援センター）と連携した情報発信。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存の施策や取組と地域循環共生圏の関係性の理解や共通言語化。</li> <li>地域循環共生圏の形成促進のためのノウハウや情報、参考事例、支援方法の蓄積。</li> <li>地方公共団体と地域循環共生圏を推進するための普及啓発や学習・実践の機会づくり。</li> </ul>
<p>地域における ESD 推進の取組支援</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山口県を中心とした中国地方の ESD 実践者の交流促進。</li> <li>SDGs 達成や ESD 推進を目指すマルチステークホルダー（宇部市総合戦略局、SDGs 未来都市、山口県環境部署、山口県教育委員会、宇部市教育委員会有識者、地方自治体、議員、NPO、企業、環境教育や ESD の実践者）とのパートナーシップ形成。</li> <li>SDGs 達成に向けたプロセスや協働取組への ESD アプローチ。</li> </ul> <p>《課題》</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs の機運が高まる中での ESD の扱い方や導入方法。</li> <li>・支援した ESD 実践拠点の継続的な活動に向けた取組支援。</li> </ul>
第 5 次環境基本計画に沿った環境教育支援事業	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県（地域政策局平和推進プロジェクトチーム）の施策との継続的な事業連携。</li> <li>・大学生（16 名）の参画を通じた広島県内の SDGs ビジネス（29 社）の見える化（セレクトブックの制作）と発信。</li> <li>・SDGs ビジネスセレクトブックの成果による、多様な機会における SDGs の普及啓発や取組のスタートアップ。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs の理解やスタートアップの次なるステップにおける取組支援（ビジネス化、協働取組など）。</li> <li>・マルチステークホルダーで SDGs を推進するための県域のプラットフォーム構築。</li> <li>・SDGs の達成に向けて大学生が主体的に実践活動していくための機会創出や支援の継続。</li> </ul>
地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた地域循環共生圏の創造に取り組む採択団体の支援等	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域循環共生圏の形成に向けた地域の環境整備（将来像の共有、取組体制構築、事業化の構想等）における支援ニーズの可視化。</li> <li>・瀬戸内海における海洋プラスチック対策としての竹材の活用状況、可能性等についての現状把握。</li> <li>・流域を基盤とした人材交流・育成について、都市・農山村との資源循環を見据えた事例の把握。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域循環共生圏構築プラットフォームの構築支援に向けた地方環境事務所との連携、役割分担による支援のあり方整理。</li> <li>・地域循環共生圏構築につながるビジネスモデルの発掘、形成支援。</li> </ul>
相談対応及び情報センター業務	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談対応及び情報収集・発信の拡充。</li> <li>・実施した事業を通じた新たな相談案件の創出や事業展開に向けた相談対応の活用。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談対応を通じた情報やニーズの収集、対応ノウハウの蓄積。</li> <li>・関係機関とのデータ共有や活用。</li> </ul>

#### ■中国地方 ESD センター業務

ESD 活動を支援する情報共有機能	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国地方の ESD 推進のための相談・支援窓口の周知と内容の拡充。</li> <li>・中国地方における 3 年間の ESD 活動に係る情報等の見える化。（見</li> </ul>
-------------------	--

	<p>取り図の作成)</p> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールマガジンや SNS を活用した情報発信の充実。</li> <li>・ESD 推進ネットワーク関係団体と連携した情報や資料等の共有。</li> </ul>
現場のニーズを反映した ESD 活動の支援機能	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域 ESD 拠点や中間支援組織、広島 SDGs コンソーシアム等と連携したニーズ把握や情報発信。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ESD 実践団体の発展的活動につながるニーズの分析や支援に向けた活用。</li> </ul>
ESD 活動のネットワークの形成、ESD 実践の学びあいの場の促進機能	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国 ESD センター及び他の地域の地方 ESD センター、全国的な ESD 推進団体 (JICA、独立行政法人国立青少年教育振興機構) との連携。</li> <li>・全国の ESD 活動支援センター事業の設計・構築 (ESD 推進ネットワークの可視化)。</li> <li>・ESD 全国フォーラムの開催支援及び地域 ESD 拠点の参画促進。</li> <li>・地域 ESD 拠点の登録 (2 団体/鳥取県、広島県)。</li> <li>・地域 ESD 拠点の取組事例の水平展開 (津山圏域クリーンセンター・リサイクルプラザ、島根県立しまね海洋館アクアス)。</li> <li>・ESD 推進ネットワークの拡充や可視化、「ESD for 2030」に向けた議論の活性化。</li> <li>・大学や学校と連携した ESD 推進 (学習指導案のブラッシュアップ、SDGs 理解、教員や教育学部学生の育成、実践団体の表彰)。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ESD for 2030」に向けた ESD 推進ネットワークの次なる目標や方向性等の検討。</li> <li>・地域 ESD 拠点の機能強化やフォローアップ。</li> <li>・SDGs の達成や地域の課題解決に向けた ESD の具体的な貢献。</li> </ul>
人材育成機能	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユースを主体とした広域的な交流や学びあいの場づくりの広がり。</li> <li>・SDGs の達成に向けた ESD ユースとその支援者の人材育成。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会やマスコミ等と連携した発信。</li> <li>・学校及び学生の参加促進の工夫や開催時期の設定。</li> <li>・育成したユースや支援者のフォローアップ。</li> </ul>

## ⑥ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会事務局

## 1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会事務局
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	受託料
収益金額	981,720円
目的・内容	広島県及び23市町など行政も加わった県民参加の森づくり運動として、多くの県民が、この日に、身近な山へ入るきっかけをつくることを目的とする。

## 2) 実施内容

## ■ひろしま「山の日」県民の集い行事

【日 時】令和2年6月2日10:00～15:00

【場 所】〔メイン会場〕

竹原市会場（バンブー・ジョイ・ハイランド）

〔サテライト会場〕

東広島市会場（憩いの森公園）・廿日市市会場（もみのき森林公園）・広島市会場（広島県緑化センター）・三原市会場（中央森林公園）・庄原市会場（国営備北丘陵公園）・福山市会場（ふくやまふれ愛ランド）・三次市会場（酒屋いこいの森他、ほしはら山のがっこう）・呉市会場（野呂山）・北広島町八幡高原会場（高原の自然館）・安芸太田町会場（深入山グリーンシャワー）・大竹市会場（マロンの里交流館）・世羅町会場（道の駅世羅、せら夢公園）・大崎上島町（神峰山）・江田島市会場（野登呂山）

【参加者】13,642名

【運営】広島県民（森林ボランティア、山岳団体、企業CSR活動、大学・高校、緑の少年団など）

【内容】山の手入れ、登山道整備、登山教室、自然観察会、森のネイチャーゲーム、木工教室、森のコンサートなど、各団体・企業等の持ち込み企画で実施

## 3) 事業総括

## 【成 果】

○広島県23市町の開催まで、残すところあと1市5町となり、より一層「山の日」の意識が高まった。

○当センター（中間支援組織）が事務局を担うことで、多様な主体の関係者に情報発信できた

## 【課 題】

- 「森林を守り育てる体制」として、積極的に活動している団体数の不足
- 森林整備従事者の成り手不足及び一般県民の方々の理解不足

#### (4) ネットワーク・連携推進事業

##### ①ひろしま未来交流会

###### 1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	ひろしま未来交流会
担当責任者	松原裕樹
担当スタッフ	松原裕樹
契約先等	有志一同（広島県環境県民局県民活動課、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター）
事業期間	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
収益形態	自主財源
収益金額	－
目的・内容	様々な立場・世代を対象とした主客一体の交流会を開催することを通して、広島 島の未来を語り合いプロジェクトを生み出して実現することを目指す。

###### 2) 実施内容

###### ■実施概要

【日 時】毎月第 2 金曜日 19:00～21:00

【場 所】ひろしま NPO センター大学連携室（広島市中区大手町 広島県民文化センター6F）

【内 容】

回	日 程	参加者	おしゃべりテーマ
第 59 回	2019 年 4 月 12 日（金）	16	ズムスタなど大型商業施設／外国人観光客の昼間の過ごし方／次回（第 60 回）は何するか／カープ ライフの観戦招待先／平成の思ひ出
第 60 回	2019 年 5 月 10 日（金）	26	トビーの進化論／眠くなったときの対処／学生への 思い／女性が地方に残るには 令和 5 年の広島／人が集まる会社、人が逃げ出す 会社
第 61 回	2019 年 6 月 14 日（金）	21	10 年後、20 年後にどのような日本にしたいか？／ 人生 100 年時代／老後 2 千万円問題／カープに興味 ない人の意見は？／組織のあり方／小中学生の ビジネス教育
第 62 回	2019 年 7 月 12 日（金）	17	年間 2,877,143 円使われている税金の新たな活用 方法は？／参議院選挙は誰に投票した？／ゴミ拾

			いのネーミング／広島が広島としてどう生き延びるか／いつから子どもにスポーツを／ひきこもり
第63回	2019年 8月9日(金)	17	似島の活性化／シングルマザーをどう思う？／20代の気持ちをわかるには／暑さ対策・涼しくなる方法／自由と平等
第64回	2019年 9月13日(金)	18	広島湾の海ゴミをなくす／中絶について／イベントの集客方法／スポーツしたい？やってる？／障害の“害”の漢字
第65回	2019年 10月11日(金)	18	ローマ法王にやってもらいたいこと／学生に求めていること、力を借りたいこと／広島と縁遠いもの／広島城をどうすればよい？／掲示板に書き込みたいこと／クラウドファンディングのオーナー募集
第66回	2019年 11月8日(金)	15	はなの輪イベントで植えてみたい花／古くなった公共施設の展望／どんな情報が書いてあれば買う？／どうすれば広島の人が東京に行く？／どんな企業があれば広島に就職する？
第67回	2019年 12月13日(金)	14	広島の男性のイクメンぶり／学生×企業／個人の目標／女性のキャリア
第68回	2020年 1月10日(金)	16	LGBTQA／有効な温暖化対策／働き方改革／古民家の整理／広島県はなぜ他県に嫌われるのか／被爆75年を迎える各地域
第69回	2020年 2月14日(金)	19	広島県におけるSDGsとビジネス／お菓子作りで楽しく理科を学ぶ教材作成の試み／藤井幸子の朗読劇「蛍火」／同窓会の会費／石野さんの活動報告／広島インバウンドビジネス
第70回	2020年 3月13日(金)	—	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため延期。

## (5) 子育て・子育て支援に関する事業

### ①親子での体験活動プログラム普及に係るサテライト講座業務

#### 1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	親子での体験活動プログラム普及に係るサテライト講座業務
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	広島県教育委員会

事業期間	令和元年7月1日～令和2年2月29日
収益形態	受託料
収益金額	632,600円
目的・内容	広島県教育委員会が開発した、幼稚園・保育所・認定こども園等において親子が一緒に楽しめる体験活動プログラムを県内の園・所等において訪問実施し、プログラムの普及を図るとともに、保護者の関わりも含めたプログラムのねらいを達成するための効果的な実施について園・所等職員の理解を深めることを目的とする。

## 2) 実施内容

■県内の保育園・所、公民館等を訪問し、親子での体験プログラムを実施

【日 時】 令和1年7月～令和2年2月

【場 所】 県内の園・所、公民館等：6か所

【実施団体】 ○NPO 法人いきいきアクティビティサービス

○NPO 法人ほしはら山の学校

## 3) 事業総括

【成 果】

○親子の身体を使ったコミュニケーションづくりの向上

○保育園・所、公民館等の職員の理解向上

【課 題】

○プログラム実施体制の強化

## ②広島市公募型常設オープンスペース「つばさ」

## 1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	広島市公募型常設オープンスペース「つばさ」
担当責任者	香川恭子
担当スタッフ	八木千晶、山根文華、宅嶋由美子、村越可苗、下野嘉代、鎌田紀美、白井千春（7月～）、松本幸江（12月～）、田辺綾（～5月）、山本満寿美、梶本里香、逸見文恵、横山ゆかり
契約先等	広島市こども未来局こども・家庭支援課
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	自主財源・補助金・利用料
収益金額	補助金：18,837,000円、利用料他：1,328,340円
目的・内容	子育て中の親子が、自由に集い遊び、学び、健やかに成長できる場の提供。 ①子育てオープンスペースの運営、講習会・交流会の実施、相談事業、情報提供など

<p>月曜～土曜の 10:00～16:00、1 回の利用料 100 円、年間登録料 100 円</p> <p>②子育てオープンスペース内での一時預かりの実施</p> <p>月曜～土曜の 9:30～17:00、30 分 250 円（1 回 3 時間まで）</p> <p>③訪問支援事業の実施</p> <p>依頼のあった日時にボランティアが訪問支援活動を行うためのコーディネーター業務、ボランティアの養成</p>
--

## 2) 実施内容

## ■子育て親子の交流の場の提供

開設日数	255 日 ※令和 2 年 2 月 29 日から、広島市における新型コロナウイルスの感染拡大防止の方針に基づきクローズ。
延利用者数	大人 2,898 人（男性：141 人、女性：2,757 人） 小人 3,176 人（0 歳児：1,029 人、1 歳児：1,214 人、2 歳児：597 人、3 歳児：170 人、その他：166 人）
子育てアドバイザーの雇用実績	13 名（他のオープンスペースからの応援は含まない）

## ■子育てに関する相談・助言の実施

相談対応件数	生活に関すること	126 件	育児等に関すること	27 件
	発育・発達に関すること	112 件	その他	114 件

## ■地域の子育てに関する情報提供

提供を行った情報の内容等	幼稚園、保育園の入園に関する情報や園庭開放の情報。地域の子育てサロンやサークル情報の提供。ファミリー・サポートについて登録や利用方法を伝えた。広島市の事業で産後ケアの利用について説明。イベントやお出かけ情報など。
主な提供方法	資料の配布、ホームページの閲覧、掲示物の閲覧、口頭で説明しながら情報を提供し、使い方や問い合わせ先など具体的に伝えるよう心がけた。

## ■子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施

実施実績	講演会	0 回	交流会	23 回	延利用者数	大人：1,014 人
	講習会	95 回	その他	11 回		小人：1,291 人

## ■付加価値事業の実施

## ○地域の子育て支援拠点として地域の子育て支援活動の展開を図るための取組

取組内容	一時預かり事業を実施した。オープンスペース開催日の 10 時～18 時まで実施。（行事の為午後から実施の日あり）
------	--

## ○地域支援の取組

取組①	実施内容	中央公園で子どもが主体的に遊びを創造するための遊び場づくりを地域の団体と一緒にを行った。
	延利用者数	小人：913 人
取組②	実施内容	ホームスタートによる訪問支援活動を行った。

	延利用者数	大人：90人 小人：169人
--	-------	-------------------

■一時預かり事業の実施

○一時預かり事業の実施の概要

一時預かり 実施日時	実施曜日	月曜日～土曜日
	実施時間	9:30～17:00（この間の3時間以内）
	実施日数	260日
従事スタッフの雇用実績（保育従事者）		8人

○一時預かり利用実績

区 分	年度計
稼働日数	260
延べ預り児童数	863
延べ利用者数（養育者数）	846
一日あたりの平均預かり児童数	3.3

■その他子育て支援に関すること

新型コロナウイルス感染防止のため、クローズ期間は預かりも実施せず、予約の家庭に電話連絡し、必要に応じて情報提供を行った。

3) 事業総括

【成 果】

- 昨年度から継続して訪問支援事業を継続。保健師さんや助産師さんからの紹介が多くあり、社会的なニーズも高いと実感。コロナの感染防止の為、3月は訪問を中止した。電話でお話を聴く活動に切り替えた。
- 講習会や交流会などの行事を予定通り実施できた。

【課 題】

- 一時預かりのキャンセル率が高く、定員いっぱいであったがキャンセルにより0組の日もあった。
- 予算が少なく、広報活動が十分にできなかったため、もっと早く知りたかったと言われる利用者が複数あった。HPの作成やSNSの活用により、情報が良く届くようになってきているが、課題は発信力。
- 訪問支援活動の依頼に対し、予算とボランティアさんが足りていない。
- 訪問支援活動の依頼に対し、十分な予算がない。
- OSや預かり、訪問支援等からわかった利用者さん個別の課題への対応がまだ十分にできていない。

③広島市公募型常設オープンスペース「ふらっと（安佐南区）」

1) 事業概要

事業種別	継続
------	----

事業名	広島市公募型常設オープンスペース「ふらっと（安佐南区）」
担当責任者	香川恭子
担当スタッフ	班石亜希、佐々木千絵、北佳宏、金近佳美、山口沙織、八木千晶、山本満寿美
契約先等	広島市こども未来局こども・家庭支援課
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	自主財源・補助金・利用料
収益金額	補助金 7,244,000 円 利用料 211,654 円
目的・内容	子育て中の親子が、自由に集い遊び、学び、健やかに成長できる場の提供。 子育てオープンスペースの運営、講習会・交流会の実施、相談事業、情報提供など 月曜～金曜の 10:00～16:00、1 回の利用料 100 円、年間登録料 100 円

## 2) 実施内容

## ■子育て親子の交流の場の提供

開設日数	217 日
延利用者数	大人：1,864 人（男性：44 人、女性：1,820 人） 小人：2,037 人（0 歳児：831 人、1 歳児：810 人、2 歳児：274 人、3 歳児：68 人、その他：54 人）
子育てアドバイザーの雇用実績	5 名（他施設からの応援を除く）

## ■子育てに関する相談・助言の実施

相談対応件数	生活に関すること	199 件	育児等に関すること	150 件
	発育・発達に関すること	171 件	その他	119 件

## ■地域の子育てに関する情報提供

提供を行った情報の内容等	園庭開放、保育園や幼稚園の入園や入所の手続きについて。公民館の子育て事業の案内。サークル活動の情報など。
主な提供方法	資料を集めて、OS 内に掲示。必要に応じて説明。

## ■子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施

実施実績	講演会	0 回	交流会	17 回	延利用者数	大人：610 人 小人：634 人
	講習会	59 回	その他	0 回		

## ■その他子育て支援に関すること

地域の戸建てを利用して、オープンスペースを開設。そのため、自宅または実家のように過ごす方も多く、他の OS に比べて相談件数が多い。また、訪問支援の活動につながったケースも多い。

## ■付加価値事業の実施

実施内容	安佐南区・安佐北区においてホームスタートによる訪問支援活動を行った。
------	------------------------------------

利用者数	大人：63人 小人：97人
------	---------------

## 3) 事業総括

## 【成 果】

- これまで近くにいつでも遊びにいけるスペースがなかったため、近隣の親子さんが徒歩や自転車で遊びに来れる場所として喜ばれた。
- 区の保健師さんや助産師さん、他のOSとの連携がはかれ、地域の子育てセーフティネットづくりに貢献できている
- お父さんスタッフもいて、お父さんが子育てに関心を持ってもらえるセミナーを開催できた。

## 【課 題】

- 予算が少なく、広報活動が十分にできなかったため、もっと早く知りたかったと言われる利用者が複数あった。利用者が少ない分利用料収入も予算通りとならなかった。

## ④広島市公募型常設オープンスペース「いいね（南区）」

## 1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	広島市公募型常設オープンスペースいいね
担当責任者	香川恭子
担当スタッフ	三宅由紀子、鹿江幸枝、北博子、高橋知子、中村華那、沖本純子、野原千秋、多賀谷美絵子
契約先等	広島市こども未来局こども・家庭支援課
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	自主事業・補助金・利用料
収益金額	補助金 6,936,000 円、利用料 420,100 円
目的・内容	子育て中の親子が、自由に集い遊び、学び、健やかに成長できる場の提供。 子育てオープンスペースの運営、講習会・交流会の実施、相談事業、情報提供など 月曜日～土曜日の 10:00～16:00、1 回の利用料 100 円、年間登録料 100 円

## 2) 実施内容

## ■子育て親子の交流の場の提供

開設日数	217日
延利用者数	大人：3,739人（男性：188人、女性：3,551人） 小人：4,002人（0歳児：1,002人、1歳児：1,783人、2歳児：768人、3歳児：269人、その他：180人）
子育てアドバイザーの雇用実績	10名（他施設からの応援を除く）

## ■子育てに関する相談・助言の実施

相談対応件数	生活に関すること	131件	育児等に関すること	5件
--------	----------	------	-----------	----

	発育・発達に関すること	122件	その他	60件
--	-------------	------	-----	-----

■地域の子育てに関する情報提供

提供を行った情報の内容等	園庭開放、保育園や幼稚園の入園や入所の手続きについて。公民館の子育て事業の案内。サークル活動の情報など。
主な提供方法	資料を集めて、OS内に掲示。必要に応じて説明。

■子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施

実施実績	講演会	0回	交流会	15回	延利用者数	大人：1,664人 小人：1,716人
	講習会	82回	その他	0回		

■その他子育て支援に関すること

商業施設内のオープンスペースであるため、気軽に利用していただきやすい。

■付加価値事業の実施

実施内容	南区・安芸区においてホームスタートによる訪問支援活動を行った。
利用者数	大人：56人 小人：86人

### 3) 事業総括

【成 果】

- 買い物がてら立ち寄られる方も多く、お母さんの買い物中にお父さんが親子で過ごすケースも多くみられた。家庭内での親子や夫婦の抱えている問題についての相談も多くあり関係機関へつなげることができた。
- 区の保健師さんや助産師さん、他のOSとの連携がはかれ、地域の子育てセーフティネットづくりに貢献できている。

【課 題】

- 予算が少なく、広報活動が十分にできなかったため、もっと早く知りたかったと言われる利用者が複数あった。年度末にHPも完成し、インスタやブログでの発信もできるようになった。

## (6) その他目的を達成するために必要な事業

### ①委員・講師等の派遣

担当者	実 績
安藤 周治	<b>【理事長】</b> 特定非営利活動法人ひろしまね <b>【理事】</b> 作木観光協会副会長 <b>【理事】</b> 三次広域商工会 <b>【理事】</b> 一般社団法人 みよし観光まちづくり機構 <b>【評議委員】</b> 公益財団法人マツダ財団 <b>【評議委員】</b> 公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしま <b>【委員】</b> 広島県河川整備基本方針等検討委員会

	<p>【幹事】ひろしま国際交流サミット</p> <p>【委員】さとやま未来円卓会議</p> <p>【就任】山口県 中山間地域コーディネーター&amp;アドバイザー</p> <p>【副会長】ローカルマニフィスト中国運営委員</p> <p>【大使】北海道むかわ町大使</p> <p>【就任】総務省地域力創造アドバイザー</p> <p>【評価委員】総務省 過疎地域等自立活性化交付金事業</p> <p>【座長】国土交通省 水源地域支援ネットワーク運営会議</p> <p>【審査委員長】国土交通省 水の里の旅コンテスト</p> <p>【理事】コミュニティ政策学会</p> <p>【認定】内閣府地域活性化伝道師</p> <p>【評価委員】総務省集落ネットワーク圏形成事業</p> <p>【委員】国土交通省新たな担い手等による水源地域在り方検討会</p> <p>【就任】公益社団法人青少年育成広島県民会議 青少年育成指導者</p>
中村 隆行	<p>【委員】広島市男女共同参画推進センターゆいぽーと</p> <p>【運営委員】広島市ボランティア情報センター</p> <p>【委員】呉市市民協働推進委員会</p> <p>【委員】江田島市まちづくり助成金審査委員会</p> <p>【審査委員】JICA 草の根事業外部審査委員会</p> <p>【副理事長】自治労 自治研究センター</p> <p>【委員】三原市空き家対策審議会</p> <p>【委員】三原市文化芸術未来検討委員</p> <p>【共同代表】日本ファンドレイズ協会中国チャプター</p> <p>【評議員】公益財団法人広島県男女共同参画財団</p> <p>【委員】第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会</p> <p>【委員】広島県共同募金会社会課題解決プロジェクト広域テーマ募金検討委員会</p> <p>【評議員】広島県社会福祉協議会</p> <p>【評議員】広島市社会福祉協議会</p> <p>【副会長】広島県障がい（児）者と手をつなぐ県民会議</p> <p>【幹事】中国地域コミュニティビジネス/ソーシャルビジネス協議会</p> <p>【評価委員】岡山県NPOボランティア支援センター（ゆうあい）</p> <p>【認定】内閣府地域活性化伝道師</p>
三好 久美子	<p>【理事長】公益財団法人ひろしまこども夢財団 理事長</p> <p>【委員】広島県国土利用計画審議会 委員</p> <p>【委員】尾道市協働のまちづくり委員会 委員</p> <p>【監事】公益社団法人青少年育成広島県民会議 監事</p> <p>【委員】広島県食育推進会議 委員</p> <p>【副会長】広島県博物館協議会 副会長</p>

	【委員】 広島県農村環境情報協議会 委員
児玉 宏	【役員】 広島県プラチナ世代支援協議会 【委員】 広島市共同労働審査委員会
松原 裕樹	【認定】 内閣府地域活性化伝道師 【理事】 特定非営利活動法人岡山 NPO センター 【監事】 特定非営利活動法人環境パートナーひろしま 【委員】 広島県環境審議会 委員 【委員】 広島県地域福祉支援計画策定委員会 【登録】 広島県環境保全アドバイザー 【登録】 ひろしま里山チーム 500 【委員】 広島県社会福祉協議会ボランティア活動・福祉教育推進委員会／委員 【副議長】 広島市災害ボランティア活動連絡調整会議／副議長 【副本部長】 広島市市災害ボランティア本部／副本部長 【委員】 三原市市民協働推進委員会／委員 【審査員】 イオンチアーズクラブサミット中四国大会／審査員 【実行委員】 全国自然体験活動指導者集会 2019 (全国キャラバン) 自然体験活動フォーラム in 江田島／実行委員 【講師】 広島青年会議所講演会／(一社) 広島青年会議所 【講師】 2019年度初級職員研修会／広島県生活協同組合連合会 【講師】 岡山県環境学習次世代指導者発掘・育成事業／岡山県 【寄稿】 VOLUNTEERS 2019 Summer Vol.23／市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい・藤沢市 【講師】 災害時の連携を考える全国フォーラム／(特非) 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 【講師】 大学行政管理学会特別シンポジウム／大学行政管理学会 中国・四国地区研究会 【寄稿】 市民活動総合情報誌「ウォロ」／(社福) 大阪ボランティア協会 【講師】 環境を考える講演会 2019／くれ環境市民の会 【講師】 介護事業所職員研修／(医) 好縁会 【講師】 広島県中小企業家同友会 SDGs セミナー／広島県中小企業家同友会 【講師】 地域課題探究活動 (1年生)／広島県立三次高等学校 【講師】 環境保健夏季大学／(一財) 環境保健協会 【講師】 呉青年会議所 SDGs 研修会／(一社) 呉青年会議所 【講師】 ONE DREAM2019／(一社) ONE DREAM 【講師】 高校生のための ESD ユースワークショップ／中国地方 ESD 活動支援センター 【講師】 京都地域未来創造センター連続セミナー／京都府立大学 【審査委員】 2019年こくみん共済 coop 地域貢献助成事業審査委員／全国労働者

	<p>共済生活協同組合連合会</p> <p>【講師】地球環境フォーラム SDGs 勉強会／ひろしま地球環境フォーラム</p> <p>【審査委員】国際平和のための世界経済人会議 広島県 SDGs ビジネスプランコンテスト／広島県</p> <p>【実行委員】たちまち全員集合実行委員会／広島県・NPO・企業等</p> <p>【講師】探究活動（1・2年生）／広島県立安西高等学校</p> <p>【講師】新庄学園 PTA 講演会／新庄学園 PTA</p> <p>【講師】地域循環共生圏創造のための意見交換会／中国四国地方環境事務所</p> <p>【講師】広島工業大学地球環境学科ご近所ゼミ／広島工業大学地球環境学科</p> <p>【審査委員】第5回全国ユース環境活動発表大会中国地方大会／（独法）環境再生保全機構</p> <p>【講師】令和元年度プラチナ大学（呉校）／広島県・（社福）広島県社会福祉協議会</p> <p>【講師】広島中央ロータリークラブ例会卓話／広島中央ロータリークラブ</p> <p>【講師】岡山県地球温暖化防止活動推進員研修／岡山県</p> <p>【講師】レジリナイト Hiroshima 例会／レジリナイト Hiroshima</p> <p>【講師】竹原市職員 SDGs 研修会／竹原市</p> <p>【講師】ESD 推進ネットワーク全国フォーラム／全国 ESD 活動支援センター</p> <p>【講師】職員研修会／一般財団法人環境保健協会</p> <p>【講師】地域貢献応援セミナー／（社福）広島市社会福祉協議会</p> <p>【講師】企業とNPOの協働促進マッチングフォーラム／山口県</p> <p>【講師】山口県企業等社会貢献活動セミナー／（社福）山口県社会福祉協議会</p>
山本 祐二	<p>【委員】広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会／広島市</p> <p>【委員】広島県社会福祉協議会地域福祉部会常任委員会／広島県社会福祉協議会</p> <p>【委員】広島県医療費適正化計画検討委員会／広島県</p>
増田 勇希	<p>【委員】広島県被災者生活サポートボラネット推進会議委員会／広島県社会福祉協議会</p> <p>【講師】災害ボランティアセンター運営者研修／広島県社会福祉協議会</p> <p>【講師】災害ボランティアセンター運営者研修／佐賀県社会福祉協議会</p> <p>【講師】災害ボランティアセンター振返り会／三原市社会福祉協議会</p> <p>【就任】JICA 青年海外協力隊相談役</p>
香川 恭子	<p>【講師】広島県子育て支援員研修</p> <p>【講師】ホームスタートホームビジター養成講座</p> <p>【講師】広島市安佐南区防災リーダー研修</p> <p>【委員】広島市社会福祉協議会第8次計画策定委員会</p> <p>【委員】広島市社会福祉協議会ボランティア情報センター運営委員会</p>
松村 涉	<p>【理事】認定NPO法人陽だまり 組織基盤担当理事</p> <p>【講師】ICTを活用した情報発信力強化事業／公益財団法人とっとり県民活動活性</p>

	化センター
--	-------

## ②中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業

### 1) 事業概要

事業種別	新規
事業名	中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業
担当責任者	松村渉
担当スタッフ	松原裕樹、山本祐二
契約先等	一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)
事業期間	令和元年 11 月 26 日～令和 2 年 3 月 31 日
収益形態	助成金
収益金額	5,407,529 円
目的・内容	中国 5 県の間接支援組織で構成するコンソーシアムが、休眠預金等を活用し、そのノウハウや知見、ネットワークを共有するとともに、各県で活動する NPO 等（実行団体）への助成金の配分と伴走支援を実施し、地方のくらしの崩壊・消滅につながる課題を解決することを目的とする。

### 2) 実施内容

#### ■応募期間

令和 2 年 1 月 27 日～2 月 28 日

#### ■選考審査会

【日 時】 令和 2 年 2 月 24 日

【場 所】 広島オフィスセンター（広島市南区東荒神町 3-35）

【審査委員】 条件付き非公開（2020 年 6 月以降公開予定）

#### ■助成団体（内定）

NO	団体名	所在地	助成額
1	たすき株式会社	島根県雲南市	20,000,000 円
2	NPO 法人子どもシェルターモモ	岡山県岡山市	20,000,000 円
3	NPO 法人湯来観光地域づくり公社	広島県広島市	10,000,000 円
4	NPO 法人 NPO 狩留家	広島県広島市	10,000,000 円

### 3) 事業総括

#### 【成 果】

○中国 5 県の間接支援組織によるコンソーシアムでの休眠預金事業の実施

○広島県の NPO 法人に 2,000 万円の助成

#### 【課 題】

○県内の社会課題のさらなる把握

○社会的インパクト評価や組織ガバナンス・コンプライアンス整備の支援

## ③平成30年7月豪雨災害復興支援活動

## 1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	平成30年7月豪雨災害復興支援活動
担当責任者	松原裕樹
担当スタッフ	松原裕樹、松村渉、増田勇希、岡本泰志、井上圭太、横山ゆかり
契約先等	－
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	自主財源・寄付金・受託料
収益金額	－
目的・内容	県内の行政・社協・NPOや県外のJVOAD等の関係機関と連携して、西日本豪雨災害の復旧・復興のための活動支援や協働事業を展開すると共に、広島県生活協同組合連合会・Yahoo!基金・Yahoo!ネット募金からの寄付金を活用した基金を設立し、NPOや地域の自治組織等の支援団体に助成金を配分する。

## 2) 実施内容

## ■坂町ボランティアセンター運営支援・自治会支援

【日時】平成31年4月1日（月）～令和2年3月31日（土）

【場所】坂町

【内容】○ボランティアセンター運営支援  
○各種外部支援団体のコーディネート  
○被災自治会等支援  
○その他、復興に必要とされる業務全般

【結果】坂町では仮設住宅の設置後、仮設住宅、みなし仮設住宅に生活する住民への生活支援が必要とされており、坂町社会福祉協議会も支援の一翼を担っている。当事業では、坂町社会福祉協議会が運営するボランティアセンターの運営支援を行うとともに、活動を通して繋がりのできた各自治会の支援等、継続的に実施した。

## ■企業ボランティアの受入れと中高生の受入れコーディネート

【日時】平成31年9月6日（金）～9月7日（土）、令和元年11月6日（土）～11月7日（日）

【場所】坂町、安浦町

【連携先】公益財団法人日本フィランソロピー協会

【内容】○坂町仮設住宅における花壇の作成、換気扇・エアコン等清掃活動  
○安浦町被災地における農地復旧活動  
○坂町小屋浦地区における講和  
○被災地中高生によるワークショップの実施、平和学習の実施

- 【結果】** 企業ボランティアの受入れ、中高生の受入れともに、被災者との交流を通じた災害記憶の伝承、また、直接的な活動を通じた地域貢献に繋がった。
- 企業ボランティアでは、仮設住宅、安浦地区での活動を通しボランティア自身が防災、災害ボランティアについて考える契機となった。
- 中高生受け入れでは、広島県の被災地からの小中高生も参加したワークショップを実施。「若い世代にできること」というテーマのワークショップでは、互いに刺激を受ける内容となった。

■平成30年7月豪雨災害支援ひろしまネットワーク会議

- 【日時】** 平成31年4月1日～令和2年3月31日／毎月1回開催（18:00～20:00）
- 【場所】** ひろしまNPOセンター会議室（広島市中区大手町1-5-3 広島県民文化センター6階）
- 【目的】** 被災された方々の生活再建や地域の復興に向け、団体間の垣根を越えて顔の見える関係を構築し、地元との連携を図りながら取り組みを進めるため、情報交換やネットワークづくりを行う。
- 【対象】** 西日本豪雨災害の支援活動を行う団体・個人の方（NPO/NGO、社会福祉協議会、行政、企業、関係機関、個人など）
- 【主催】** ひろしまNPOセンター、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
- 【協力】** 広島県、広島市、広島県社会福祉協議会、広島市社会福祉協議会、日本ファミリーテーション協会
- 【内容】**

開催日	参加人数	意見交換のテーマ
第22回 (2/25)	12	①団体活動に関するイベント等の告知
第23回 (3/20)	15	①坂町の被災者アセスメント調査／②子育て家庭を対象とした災害に関するアンケート調査／③行政担当者の人事異動への対応／④「体験談集」発刊のお知らせ
第24回 (4/15)	19	①被災地における危険地域の把握／②障がい者の子ども向けカード／③田畑への支援／④公費解体と修繕の判断／⑤九州北部豪雨（福岡県朝倉市）の事例
第25回 (5/17)	10	①子育て支援アンケート／②子育て世帯の困りごと／③障がい者の避難／④避難と避難所の受入体制／⑤街頭募金の実施場所／⑥被災者のカーブ観戦招待

第26回 (6/19)	20	①大学生ボランティアの交通手段／②土囊づくり／③広島市内のみなし仮設への支援状況／④下の世代の育て方／⑤1年を迎える時期の報道のあり方
第27回 (7/24)	17	①お店の再建／②ボランティア保険／③子育て支援活動に関する保険／④被災地域以外での避難訓練における障がい者の参加状況
第28回 (8/22)	13	①生協ひろしまへの相談
第29回 (9/27)	9	①ボランティア活動保険のIT化／②これまでの経験をこれからの防災・減災につなげるフォーラム企画案
第30回 (10/29)	9	①2月2日(日)「ボランティア交流サミットひろしま2019」／②ひろしまネットワーク会議の振り返り／③防災・減災の取組に／④行政の動きに
第31回 (11/21)	8	①2020年2月2日(日) ボランティア交流サミットひろしま2019
第32回 (12/18)	9	①複雑な被災者支援制度の理解・伝達方法
第33回 (1/23)	11	①女性のエンパワメント／②災害を契機とした広島のパテンシャル／③今後、大きな災害が起きることを想定した備えや課題
第34回 (2/19)	9	①全社協からの情報／②新型コロナウイルス等の感染症
第35回 (3/25)	—	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。

#### ■平成30年7月豪雨災害ひろしま復興支援基金

【実施概要】平成30年7月豪雨災害ひろしま復興支援基金は、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興を目的とする、ひろしまNPOセンターと公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしまの協働事業です。この基金は、復旧・復興を願う市民の皆様からのご寄付に加え、Yahoo!基金様において実施されたみんなのチャリティー募金『【支援金が2倍に】平成30年7月豪雨緊急災害支援募金』からのご寄付、広島県生活協同組合連合会様からのご寄付、公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしまにおいて実施された「平成30年7月豪雨災害支援基金」へのご寄付を基に実施した。

【応募期間】2019年3月18日～4月18日

【応募結果】応募件数：89件／応募総額：37,430,000円

## 【選考結果】61プロジェクト／総額：15,470,000円

コース	応募件数	応募総額	採択件数	採択総額
(A)ありがとうコース	28件	2,620,000円	26件	2,420,000円
(B)これからもコース	33件	14,840,000円	17件	6,380,000円
(C)そなえるコース	28件	19,970,000円	18件	6,670,000円
合計	89件	37,430,000円	61件	15,470,000円

## &lt; (A) ありがとうコース採択結果 &gt;

団体名	活動名（一部省略）	採択金額
災害で生活が変わった子供を支援する会	こども無料フリーマーケット	100,000円
小谷小学校区市民協働まちづくり協議会 志村地区	志村地区7月豪雨復旧、復興応援活動	100,000円
三原市防災士ネットワーク	防災士による各地域に於ける支援活動	100,000円
ピアサポート子育て相談センター	足裏マッサージとスイーツを食べながらの傾聴	90,000円
大原ハイツ復興の会	大原ハイツ復興の会	100,000円
NPO法人アニマルセラピー協会	仮設住宅に笑顔と温もりを届けに	80,000円
ボラ写PROJECT	ボラ写PRPJECT	100,000円
八本松住民自治協議会	土石流による二次災害防止対応	80,000円
三原継ぎの輪会	西日本豪雨災害市民ボランティア活動	100,000円
安芸区を支える会	安芸区災害ボランティアセンターを支える活動	100,000円
ひろしま避難者の会「アスチカ」	西日本豪雨災害の支援物資コーディネート活動	100,000円
広島市防災士ネットワーク	平成30年7月豪雨災害（広島県版）体験談集の発刊	100,000円
川上小学校区住民自治協議会	平成30年7月豪雨災害による農業用水路の復旧作業	100,000円
NPO法人セトラひろしま	被災地遊び場開催支援事業	70,000円
NPO法人Heart of Peaceひろしま	西日本豪雨災害避難所支援活動	100,000円

菅田区	7月豪雨菅田区復旧活動	100,000円
菅田東水利組合	7月豪雨菅田東水利組合復旧活動	100,000円
チーム踏ん張る	H30年7月豪雨における三原市本郷町船木地区の復旧作業	100,000円
NPO法人宅老サービス事業所ぴっぴら	講演独演会～元気いっぱい大笑い～	90,000円
みやじま未来ミーティング	土砂かき復旧支援活動&宮島の海岸調査・清掃活動	100,000円
一般財団法人パパフレンド協会	『子ども達の笑顔を守る』の延長戦!	100,000円
えがおのまちづくりステッキ	「被災地の子どもたちに大道芸で笑顔を!」	100,000円
広島大学ボランティア団体 アイリス	広島県呉市安浦町を中心とした大学生によるこころの支援	30,000円
沼田東連合町内会	豪雨災害避難所支援及びボランティア支援活動	80,000円
遊ぼう会ぷらす	被災者の心のケアを目的とした交流ルームの整備	100,000円
三原アレルギーの会ひだまり	災害を生き抜くアレルギー講演会	100,000円

< (B) これからもコース採択結果 >

団体名	活動名 (一部省略)	採択金額
災害で生活が変わった子供を支援する会	ぼうさいひろば	500,000円
ピアサポート子育て相談センター	Smile Again プロジェクト～笑顔で見送れる日まで～	490,000円
NPO法人アニマルセラピー協会	仮設住宅の方に笑顔を 災害が起こった時のペットの避難所に	90,000円
NPO法人ANT-Hiroshima	尾道市吉和町西迫地緑化活動	450,000円
安浦夏祭り実行委員会	やすうらワクワク夏祭り2019	400,000円
広島市防災士ネットワーク	わが町防災マップを携行する避難システムの構築	500,000円
ひろしま女性防災会	早期避難を学ぶ、出張そなえてげんさい教室	490,000円
NPO法人宮島ネットワーク	宮島・アサリ浜の再生復旧事業	500,000円

学生ボランティア団体 OPERATION つながり	農地復旧ボランティア及び仮設 住宅支援	360,000 円
一般財団法人パパフレンド協会	木と親しみ保護者と子ども達の 笑顔を守るプロジェクト	500,000 円
Japanese Drum 和☆Rock	復興応援ファイト！安浦！和太 鼓フェス-呉市春の文化祭-	100,000 円
NPO 法人日本タッチ・コミュニケー ション協会	災害ストレスからの心の復興支 援事業	250,000 円
重兼を住みよくする会	重兼 みんなで減災活動	200,000 円
遊ぼう会ぷらす	遊びを通して災害後の子どもの 心のケアを行う	500,000 円
船木地域支援センター	災害後の生活再建と地域コミュ ニティ再生のための支援	500,000 円
三原アレルギーの会ひだまり	災害時の食の安全と命を守る自 助・共助を進める活動	430,000 円
広島大学大学院 心理支援プロジェク トチーム	ほっと・ゆるっと・のびのびと ～皆さんの生活を応援します～	120,000 円

< (C) そなえるコース採択結果 >

団体名	活動名 (一部省略)	採択金額
NPO 法人もりメイト倶楽部 Hiroshima	倒木・流木処理活動	100,000 円
三原ダイヤハイツ自治会	ダイヤハイツ自主防災会 (自治 会) 給水活動	360,000 円
川西上町内会	船木地区の防災拠点としての整 備と自主防災組織強化	150,000 円
平坂集会所	平坂集会所を再建し盆踊り大会 を復活させる	130,000 円
うららサロン	地域コミュニティうららサロンの 活動継続のためのの整備	150,000 円
大原ハイツ復興の会	大原ハイツ復興の会	500,000 円
NPO 法人広島県森林管理協会	災害対応資機材及び防災用具準 備	500,000 円
兼広町内会	兼広集会所を再建し地域力を強 める活動	120,000 円
三原市小坂町防災会	避難所充実事業・避難者誘導安 全確保事業	330,000 円
川上小学校区住民自治協議会	防災用具備品の整備	500,000 円
NPO 法人きらら会	非常災害時の受入設備の充実	500,000 円

市飯田区	災害対応必要資機材の整備	100,000 円
和木 自主防災協議会	そなえるコース	1,000,000 円
広島市防災士ネットワーク	今年の土砂災害・南海地震に備える	350,000 円
社会福祉法人 尾道市社会福祉協議会	災害に備えた資機材の保管	300,000 円
NPO 法人障害者生活支援センター・てごーす	防災対策用品整備事業	660,000 円
船木地域支援センター	船木地区の防災拠点としての整備と自主防災組織強化	500,000 円
社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会	教訓と経験を活かして備える事業	420,000 円

#### ■平成 30 年 7 月豪雨災害ひろしまコミュニティ支援基金

【応募期間】2019 年 12 月 1 日～2020 年 1 月 31 日

【応募結果】応募件数：74 件／応募総額：36,100,000 円

【選考結果】67 プロジェクト／総額：3,250,000 円

コース	応募件数	応募総額	採択件数	採択総額
(A) 常日頃の活動 応援コース	40 件	1,950,000 円	36 件	1,750,000 円
(B) 災害に そなえるコース	34 件	1,660,000 円	31 件	1,500,000 円
合計	74 件	3,610,000 円	67 件	3,250,000 円

#### ■その他の支援活動等

- 県内 NPO 団体の安否確認、災害支援関連情報の収集・発信
- 岡山県・愛媛県との関係団体との連携（支援活動、支援金募集）
- 活動団体の支援を行う関係機関（JVOAD、JPF、全国社会福祉協議会、中央共同募金会ほか）との連携
- NPO・企業・市民と連携した物資支援（幼児服、女性用衣類、食品ほか）
- ジャパン・プラットフォーム（JPF）および全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）との協働事業「西日本豪雨被災者に対する支援調整と 3 県地域災害ネットワーク構築・強化」の締結。
- ボラ写 PROJECT との連携、「ボラ写展 in 広島」の開催協力。
- 各地域の復興活動の支援（仮設住宅、安浦町夏祭りほか）
- 行政有志職員勉強会（熊野町、坂町、広島市安芸区）、板書ボランティア養成講座、地域支え合いセンタースタッフ向け研修等の開催。

3) 事業総括（今後の課題）

○自助・共助・公助の見直しと再構築

- \* 行政が新しくできたこと（民地の土砂撤去）と限界（行政の受援力）
- \* 自律型の地域ボランティアセンター
- \* 民間の力でどこまでやるのか（地域やNPOの疲弊、アドボカシー）

○実践（復旧・復興支援、平時の活動）を通じたネットワーク構築

- \* 復旧・復興支援を通じた関係構築と経験知の伝承
- \* 災害分野の関係者だけではないネットワーク
- \* 平時の様々な機会における関係構築や学習機会
- \* これまでの経験を今後の防災・減災につなげる取組

○中間支援組織・機能の拡充

- \* 三者連携（行政、社協、民間）の推進
- \* 中間支援“組織・機能”への支援
- \* 国・広域エリア・県・市町レベルの中間支援組織・機能の連携